

児童発達支援事業における自己評価結果

こどもデイリはなす・TEPP

公表日 2025年 3月 28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別対応できる部屋や空間を確保しやすいよう、パーテーションを活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		支援後の時間に職員間でミーティングを行い、日常業務の改善案等の意見交換を実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者へ話をきくことに加え、標準化された評価ツールを用いたアセスメントを利用開始時に実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		担当者会議で園の先生とも情報交換を行っている。(未記入1)	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		まだ、対象児がいない。今後、必要に合わせて実施予定。(未記入1)	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	児童発達支援センターとの直接的な関りは薄い が、定期的に児童発達支援センターで勤務経験のある方からアドバイスを頂いている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		現状、交流には至っていない。 必要に合わせて検討していく。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		送迎時や連絡帳でのやり取りの中でできる範囲で実施している。(未記入1)	
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		担当者会議や、計画書内容確認時に本人やご家族の意向を再度確認して作成している。(未記入1)	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	(未記入1)	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域の公民館の遊具をお借りして遊ばせていただく等、地域の方との交流できる環境にある。(未記入1)	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的に実施している。	
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に実施している。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		現状対象児なし。	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			

保護者等からの児童発達支援評価の集計結果

事業所名		こどもデイリはなす・TEPP		公表日		2025年 3月 28日					
				利用児童数		1		回収数		1	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1								
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1								
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1				現状、地域のこどもと活動する機会は作れていません。今後、地域のイベントへの参加等、検討していきます。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1								
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1				現状、利用人数も少なく、交流の機会は ありません。秋頃に保護者参観週間を開 催する予定です。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1								

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

事業所における児童発達支援の自己評価総括表

○事業所名	こどもデイリはなす・TEPP			
○保護者評価実施期間	2025年2月7日		～	2025年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		～	2025年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表検討会議日及び作成日	検討会議日 令和7年 2月 28日		作成日 令和7年 3月 13日	

○検討会議を行なった上での 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所で行われている、個別支援計画に係るサービス提供について、保護者の満足度が高い。自己評価でも情報共有できている中で支援に当たれているという意見が多数みられる。	支援後の時間を用いて、各利用者の課題の状況や背景を関係職員で共有し、具体的な支援内容を話し合っている。	支援会議にて周知方法の更なる工夫を行う。その上で具体的な支援方法を考える取組を行うと同時に事業所として取り組みを行う。
2	モニタリング時や支援計画の説明時、また子育てに関する相談について、保護者の満足度が高い。自己評価でも適切に対応できている意見が多数みられる。	傾聴を基本とした受容的な対応を心がけている。また、利用者の置かれた状況や心理的な状況などを大切にすることを重視している。	事業所に配備してある接遇マニュアルを再度各職員が確認を行い、その上で接遇などでは更に満足が高い対応を目指す。
3	日々の業務の中で保護者との連携について、保護者の満足度が高く共感的な対応を各職員が行なっている。	連絡ノートと送迎時を活用し連携できる方法と時間を大切にしている。	今後も細かい状況を伝えるために連絡ノートや送迎時での引き継ぎを活用する。さらに、必要に応じて電話連絡等を行い、情報共有に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が設けられていない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援が設けられていない。	現状、契約利用児童が少なく、交流する場を設けられていない。	今後、夏から秋頃に、1週間の保護者参観週間を開催予定。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会が少ない。	交流の機会創設などの取組が不足している。	地域のイベントに積極的に参加する取組を検討する。
3			

保育所等訪問における自己評価結果

事業所名		こどもデイリはなす・TEPP					公表日	2025年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4					
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4					
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	4					
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	4					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	4					
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	4					
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	4					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4					
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	4					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	4					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	4					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4					
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	4					
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	4					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			

保護者からの保育所等訪問評価の集計結果

事業所名		こどもデイリはなす・TEPP					公表日	2025年 3月 31日	
							利用児童数	0	回収数 0
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	利用を想定して、必要な道具をそろえ整備していきます。	
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	面談室を確保できる環境が整っています。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	目的をしっかりと伝えられるよう善処します。	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	保護者の方と連携をとって支援を実施します。	
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	お子さんにとって最善となれる体制を整えていきます。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	専門性の高い支援を提供できるよう、研修を重ね職員の質の向上に努めます。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	お子さんと保護者の方に寄り添ったうえで、客観的なアセスメントの元、計画書を作成するよう努めます。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	保育園の先生方とも、丁寧な連携を図っていきます。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	具体的な支援内容を提示することを心掛けて、計画書を作成していきます。	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	計画を共有し、計画に沿った支援ができる環境を整えます。	
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	保育園の先生方と、丁寧な連携を図り、通常の保育に支障をきたさないよう配慮して支援を実施します。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	契約時に、丁寧な説明を心掛けます。	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	計画書は必ず保護者の方に説明し、支援内容にも同意を得た上で支援を実施していきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	研修会の案内については、関連事業所と連携を取りながら進めてまいります。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	必要に応じて、保護者の方との情報共有を実施していきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	定期的に保護者の方とお話しする機会を設けていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	ご家族の気持ちに寄り添った支援ができるよう善処します。	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	お子さんやご家族が要望を伝えやすい体制を整えていきます。また、頂いたお声に真摯に対応していきます。	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	情報共有しやすい環境を整えていきます。	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	相談に対して、真摯に対応していきます。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	訪問先の方々と意見を交わし、お子さんの最善の利益につながる支援を目指します。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	実施した内容に関して、保護者の方へ情報共有していきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	ホームページやりはなす通信を通して事業所の情報をお伝えしていきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	個人情報は細心の注意を払って取り扱っていきます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	緊急時の対応についても連携をとっていきます。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	おこさんの安全を確保することを念頭に支援していきます。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	子どもたちが嬉しく思っているだけの支援を提供します。
	28	事業所の支援に満足していますか。	0	0	0	0	ご利用児童がいないため、アンケート回答者がいません。	満足できる支援を提供できるよう、善処します。

訪問先施設からの保育所等訪問評価の集計結果

事業所名		公表日 2025年 3月 31日				
こどもデイリはなす・TEPP		利用児童数 0 2025年 3月 15日 回収数 0				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	0	0	0		わかりやすい説明となるよう、善処します。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	0	0	0		満足できる支援ができるよう研鑽していきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	0	0	0		必要に応じた対応ができるよう努めます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	0	0	0		最善に努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	0	0	0		満足していただけるよう、善処いたします。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

事業所における保育所等訪問の自己評価総括表

○事業所名	こどもデイリはなす・TEPP			
○保護者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月28日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	0	(回答数)	0
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プライバシーに配慮した相談のための空間を確保できている。	日常的に、部屋を目的別に用いてプライバシーを確保できる空間を作れるような体制を整えている。	常に整理整頓を心掛け、急な相談が入っても対応できる空間にしておく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現状、利用児がいない。いつ利用を開始しても対応できるよう、準備しておく。	開設してまだ間もないため。	保護者とのコミュニケーションを積極的にとっていく。 職員で定期的に学習する場を設け、研鑽していく。
2			
3			